教会への 6 つのメッセージ

奇跡的な癒しと神様からの天国への招待

ブラニ･デュオン牧師

www.DivineRevelations.info/JAPAN/

2006 年 4 月 26 日、神様のしもべが主と会うために、天国に行かされました。そして、六つのメッセージからなる啓示を受け取りました。Efendie に住む Brani Duyon（ブラニ･デュオン）氏、52 歳はドゥスン族で、長老として東マレーシアにある *Kota Belud, Sabah という場所の Borneo 福音教会* に仕えています。彼は *Melangkap Baru* で牧師として仕えて、2005 年から 2006 年まで *SIB Bayayat* で教会のリーダーになりました。

2006 年、４月２１日、息子の結婚式に出席するため私と妻は西マレーシアに行きました。不幸にも、一週間後，突然に急性脳血管発作になりました。私を検査してくれたドクターがいるマレーシア大学のメディカルセンターにすぐさま送られました。ドクターは脳内に破裂があり早急に手術が必要だと言いました。

私は術後、一週間ほど意識がない状態で、一ヶ月以上、集中治療室にいました。

私のために祈り訪ねて来てくれた神様のしもべが沢山いました。前 SIB Sabah の首相を含め、Taipin Melidoi 牧師と彼のアシスタント、Datuk Arun Selutan 牧師、そしてまた Michael 牧師です。

一度、私にひどい雨が降る夢を見ました。回復を祈ってくれた牧師へ答えとして、私はこの夢を解釈しました。神様の力とそして神様を賛美します。予想したよりも早く回復できました。

2006 年の５月の第３週の中、ある真夜中に、奇妙な感じがしました。他の患者がぐっすり眠っている間、私は眠ることができませんでした。この時間、イエス様だけのことを考えていました。　イザヤ書の 43:26　を思い出しました。　**『わたしにおもいださせよ。共に論じ合おう。身の潔白を明かすため、あなたのほうから述べたてよ。』**　私は主、イエスキリストのことだけを焦点に当てたかったので、この言葉を繰り返し思っていました。私は神様の強い臨在を感じることができました。

そして私は霊において祈ることを始めました。祈りの後、眠ろうとしましたができませんでした。そしてベッドに寄りかかりました。突然、誰かが私の背中をトントンとたたき、私の頭を打つ感じがしました。しばらくこれが続きました。驚くほど素晴らしい何かが私の体内に流れる感覚がありました。それは神様から神様の子への愛だったと信じました。この人物は何者なのか、不思議に思いました。振り返りると、私は驚きました。彼は若くハンサムでがっしりした体型で背が高く、首までの長さの髪の毛がある人でした。白いドレスをきていました。　『あなたは私がずっと思っていた主ですか。』彼はただ首を振るだけでした。そして再度聞きました。　『では誰なのですか。』　彼は私に話し始めました。　『私は天からのメッセンジャーです。イエス様がよい知らせのためにあなたの元へ行くように、言ったのです。』

私は彼が神様の天使だということがわかりました。なので質問しました。　『私に知らせたいよい知らせとは何ですか』彼は　『今夜、あなたは天国に行きます。』と答えました。私は具合が悪かったのですが、すぐに落ち着き、平安を感じました。あたかも痛みがないように感じました。私が天国にいくと天使が伝えた瞬間、病から完全に回復しました。そして私は天使に言いました。　『天国に行くために、あなたについて行く準備はできています。主にお会いできることが待てませんよ。』

私達が歩いている時、ベッド上に私の死体があるのを見ました。病院から出たあと、驚くほど大きく背が高い馬をみました。天使は　『この馬に乗ります。』といいました。その馬は背が高いので天使は私が馬に乗るのを助けてくれました。そして私が天使に聞きました。　『この馬に乗って、天国に行けるのですか。』天使は私に保証しました。『もちろんです。恐れず、心配しないでください。神様により天国に挙げられたエリヤについて神様の言葉を読んだことがありますか。』私は答えました。　『はい、以前読みました。彼を連れて行った乗り物は火の馬により引っ張られた火の二輪馬車でしたね。』　『その通りです、そして私達が乗る馬はそのうちの一匹の馬です。』　と天使は言いました。

最初は速度が遅く、100 メートルぐらいしてから、とてもハイスピードで加速し竜巻に打たれたような感じがしました。そして馬が飛んでいるのを見ました。神様の力により、簡単にたくさんの山を超えました。

それから私たちは緑の芝生がある大きな広場につきました。それは完全で一つの芝生の

葉も枯れてはいませんでした。（詩篇 23:2　**主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。**）馬が止まってから私たちは降りて歩き始めました。

私の目の前に神の国があるのが見えました。広場を歩いているときに、ベルが鳴っているのが聞こえました。私が　『なぜベルがなっているのですか？』　と聞くと、天使は、　『ベルは、誰かが来たというサインなのです』と言いました。

私たちはベルがまだ鳴っている間、その広場の端っこまで歩き続けました。私はとても美しい家を見ました。そしてその頂上には信号機のように赤い光がありました。その光の上には 51 という数字を見ました。私は天使にその番号の意味を聞きました。天使は『今、いくつですか。』　と聞きました。当時、私は五十一歳でした。　『それはあなたの年齢の数字です。そしてあなたの家の番号なのです。』私は神様が天国に私のためにを準備してくださっているのをみて、幸せな気分になり、平安がありました。神様に信じ、従う神様の子供達のために、イエス様によって既に準備された沢山の家を見ました。

私たちはとても巨大な家に向かい歩き続けました。その巨大な家には沢山の人々がいました。彼らは神様が選んだ聖なる人々だと信じます。彼らは神様を賛美していました。人々が神様を賛美し礼拝している間、イエス様が王座に座っているのを見ました。彼らは心から神様を賛美し、踊り、両手を挙げ、ひざまずきました。私は心の中で思いました。　『もし、地球にいる人々がこのように神様を賛美し礼拝したら神様はとても喜ぶだろう。』

神様を賛美している間、沢山の人々が泣いているのを見ました。神様を礼拝するのに、彼らはどれほど捧げているのか見ながら、笑顔でいたイエス様を見ました。イエス様に向けて、彼らは両手を挙げて、イエス様は彼らを祝福していました。その礼拝（英訳では service）後、イエス様は彼らの中へ歩いて行き、彼らの涙を拭き取っていました。そして私は黙示録にある聖句を思い出しました。　『もはや死はなく、悲しみも泣くことも、痛みもない』

天使が私をイエス様の元へ連れて行きました。天使がイエス様に話しました。　『この息子が、あなたがここに来るように選んだ方です。』イエス様は私に言いました。『素晴らしい!今日、あなたは来た。』　それからイエス様は私を抱きしめ、私はとても幸せで平和な気分で泣きました。イエス様、ご自身が私を抱いてくださったので、私の魂は喜びで踊りました。

それから天使がいいました。　『主よ、彼が病気の時、私は地球にある彼の家に行きました。それにもかかわらず彼はよくなっています。』イエス様は答えました。　『はい。彼に何が起こったのか見聞きしましたよ。』天使が答えました。　『その間、彼の妻がイエス様、あなた様に助けを求める祈りを聞きました。彼女はこう祈りました。主よ、私たちを助けてください。彼を取り去らないでください。なぜなら彼に残された私達

はまだ（残されることに対して）準備出来ていないからです。これが彼女の祈りでした。』それからイエス様は答えました。　『私はすべてを知っています。彼の妻は神を恐れる女性です。彼女は祈りにおいて勤勉で忠実です。』それから私の魂は、神様に忠実な妻の心を思いながらまた泣きました。

それから神様は私に話しました。　『息子よ、あなたは地球に戻ります。なぜなら、あなたがここにいる時間はまだ来ていないのです。あなたは私に仕える為に忙しくなります。』　それから私は答えました。　『主よ、どうぞ戻れと私に言わないでください。なぜなら私はあなたとここにいて平安があり、主に近づいていて、幸せなのです。お願いします。戻りたくないです。』

イエス様の顔から、イエス様ががっかりしたことがわかりました。そして私はイエス様に赦しを求めました。なぜなら私はイエス様をがっかりさせてしまったからです。私は言いました。　『主よ、地球に戻る準備できています。しかし、私を力づけ、私がどこに行こうとも、私の面倒をみてください。主よ、私と共にいてください。』　イエス様は言いました。　『はい。心配はするな。私を仕えるために、あなたがどこへ行こうとも、私はいつもあなたと共にいる。』

イエス様は地球に持って帰るためにメッセージをくれました。イエス様は私に地球上にいる神の子にこれらのメッセージを伝えて欲しかったのです。　『これらのメッセージは彼らにとって、知っておくのに非常に重要です。』　とイエス様は言いました。私はこれらのメッセージをもたらすのに、忙しくなるだろうと言われました。イエス様はまた私に天国の経験をすべての神の子に分かち合って欲しかったのです。彼らが祝福され、神様に従うのに、新しく強い力を得る為です。

イエス様は私に言いました。　『あなたが地球に戻ったら私の子供たちすべてにこれらのメッセージを伝えなさい。』　**イエス様は私に六つのメッセージを与えました。**

第一のメッセージ
私の子供たちに言いなさい。彼らは知性と力と心を尽くし、私を信じなければなりません。疑いと心配がある人々はここに入ることはできません。と、イエス様は言いました。

第二のメッセージ
私の子供たちに言いなさい。教会の礼拝に来るのに忠実でなければいけません。なぜなら私が彼らの顔を照らし、また彼らが私の顔をみる時だからです。教会で私の子供たちが礼拝しているのを見て私はとても嬉しく思うでしょう。　と、イエス様は言いました。

第三のメッセージ
私の子供たちに言いなさい。祈りに忠実で私の意志に忠実で、私の言葉に生きるのに忠

実でなければなりません。　とイエス様は言いました。

第四のメッセージ
私の子供たちに言いなさい。什一献金と献金を与えるのに忠実にならなければいけません。 と、イエス様は言いました。
イエス様がこのメッセージを与えている間、イエス様は言いました。 『あっちを見てご覧、私の子供よ。』 神様の子供のために準備ができている美しい家々を見せてくれました。 『私の子供よ。これらの家々は準備ができています。私を信じ、忠実なすべての子供たちのために、準備しました。』 そしてイエス様はまだ完成していない家々を見せてくれました。私は聞きました。 『主よ、なぜ、まだこれらの家々はまだ完成していないのですか。』イエス様は言いました。 『私の子供よ。これらの家々は献金や什一献金をするのに気前が良くない子供たちに属する家々なのです。これらの家々は、私の家でもっと什一献金と献金をした後、これらの家々は準備ができ、完成されます。』

第五のメッセージ
私の子供たちに言いなさい。彼らが地球上にいる時に、祝福と守りのためにすべての財産を私への祈りにおかなければなりません。それは私が二回目に地球に来る時に、彼らが地球上にある財産に結びつくことがなくなるためです。ロトの妻の物語を思い出しなさい。とイエス様は言いました。

第六のメッセージ
私の子供たちに言いなさい。彼らは準備ができている状態で、いつも注意し油断しないようにしなければなりません。なぜなら私はもうすぐやってくるからです。人々が期待するよりもすぐにです！とイエス様は言いました。

（イエス様の再来は知られていませんが、携挙は確かに行われます。主、イエス様は、もうすぐやってきます。）

イエス様が私に六つのメッセージについて、行っている時に、イエス様は私に空を見せてくれました。雲一つなく、すべてがクリアーでした。イエス様が地球に向かって手を開いて、話しました。 『私の子供たちを連れて行く準備はできています。』 それから私はたくさんの人が白いローブを来てイエス様に会うために空へ挙げられていくのを見ました。彼らは左側に集められ、右側にはイエス様がいました。イエス様を信じる沢山の人達が携挙されました。さらに、沢山の家族全員が携挙されるのを見ました。夫婦と子供たちがイエス様に向かって飛んでいるのをみました。これをみてとても穏やかな気持ちになりました。

イエス様は言いました。 『下をみてみなさい。』 イエス様は地球上で混沌として無秩序な状態を見せてくれました。その間には、地球上には平和はありません。人々が叫び

ながら走り回っているのを見ました。親達は子供達を捜し、若者は親達を探していました。

イエス様は私の故郷の教会を見せてくれました。とても悲しくなりました。なぜならいくらかの人々は取り残されてしまっていたからです。

それからイエス様は言いました。 『私に忠実でありなさい。見聞きしたすべてのことを地球上にいる子供達に伝えなければなりません。』

それから天使が前に乗った同じ馬に乗り地球に連れて行ってくれました。とても速く地球につきました。天使は病院に戻してくれました。地球上の私の肉体を見たとき、私の魂は速やかに体に戻りました。

私の体は完全に病気から回復していることに気づきました。神様の力を賛美します！

天国にいたとき、私の体は私が若かった頃の体のようだったことを思い出します。

これが私が天国にいたときにイエス様にあった証です。